

2026年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
32402	企業・経営のしくみ Corporate System	小野功一郎			2	選択	1・2後期

科目の概要

本講義では、現代企業がどのように組織され、運営されているかという経営の基本的な仕組みを体系的に学びます。企業の定義から始まり、ステークホルダーとの関係、経営戦略、組織論、リーダーシップ、そして財務諸表の読み方まで、経営学の主要領域を網羅します。理論の学習にとどまらず、トヨタ自動車やスギ薬局などの身近な企業事例、会社経営疑似体験ゲーム（シミュレーション）、ダイエーのケーススタディなどを通じて、生きた経営知識と実践的なビジネス視点を養うことを目的とします。なお、本科目は「ビジネス実務士」などの資格取得にも対応しています。ディプロマシーの②③また、授業内ではNotebookLM等の生成AIツールを積極的に活用し、自ら課題を解決する能力を養います。これにより、ディプロマ・ポリシーの⑤に相当するAI活用能力を身につけます。

学修内容	到達目標
① 企業の定義と役割：経済社会における企業の目的と機能、および株式会社での仕組みについて学ぶ。 ② ステークホルダーと企業の関係：顧客、従業員、株主、地域社会など、企業を取り巻く利害関係者との関わりを理解する。 ③ 日本的経営と働き方の変化：終身雇用や年功序列といった日本的経営の特徴と、成果主義への移行など現代の働き方を学ぶ。 ④ コーポレート・ガバナンス：企業の不正を防ぎ、健全な経営を行うための企業統治の仕組みと重要性を学ぶ。 ⑤ 経営戦略と競争優位性：SWOT分析やPPMなどのフレームワークを用い、企業が市場で勝ち抜くための戦略立案手法を学ぶ。 ⑥ 科学的管理法と業務効率化：テイラーの科学的管理法から現代の生産方式に至るまで、業務効率化の歴史と理論を学ぶ。 ⑦ 組織行動とモチベーション：従業員のやる気を引き出す動機づけ理論と、組織の活性化手法について学ぶ。 ⑧ リーダーシップと組織運営：管理（マネジメント）とリーダーシップの違いを理解し、状況に応じたリーダー行動を学ぶ。 ⑨ 企業の社会的責任と財務：CSR、ESG、SDGsへの取り組みと、決算書（B/S、P/L）の基本的な読み方を学ぶ。 ⑩ 経営シミュレーションと事例研究：模擬経営ゲームと実在企業の興亡（ダイエー等）のケーススタディを通じ、経営判断の難しさを体験する。	① 企業の社会的役割と、ヒト・モノ・カネ・情報といった経営資源の重要性を説明できる。 ディプロマ・ポリシーの②③ ② 主要なステークホルダーを特定し、それぞれに対する企業の責任と価値提供について説明できる。 ディプロマ・ポリシーの②③ ③ 日本的雇用慣行のメリット・デメリットを理解し、自身のキャリア形成における働き方を考察できる。 ディプロマ・ポリシーの②③ ④ コーポレート・ガバナンスが機能しない場合のリスクと、企業価値向上のためのガバナンスの役割を説明できる。 ディプロマ・ポリシーの②③ ⑤ SWOT分析やファイブフォース分析を用いて、企業の外部環境と内部環境を論理的に分析できる。 ディプロマ・ポリシーの③ ⑥ 業務のマニュアル化や標準化の意義を理解し、効率的な仕事の進め方を提案できる。 ディプロマ・ポリシーの③④ ⑦ マズローの欲求階層説などを活用し、従業員のモチベーションを高める要因を説明できる。 ディプロマ・ポリシーの③④ ⑧ リーダーシップの諸理論を理解し、組織の目標達成に向けたリーダーの役割を説明できる。 ディプロマ・ポリシーの③④ ⑨ 貸借対照表と損益計算書の構造を理解し、売上、費用、利益の関係式を用いて企業の経営状態を把握できる。 ディプロマ・ポリシーの③④ ⑩ 変化する市場環境において、企業が持続的に成長するために必要な経営判断や変革の重要性を考察できる。 ディプロマ・ポリシーの③④

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	シラバスを使って、次回の授業内容を確認する。課題は必ず実行し提出する（欠席した場合は欠席課題とするので後日提出する）。
	働きかけ力	企業活動に関する事例やニュースを自ら調べ、授業内でのディスカッションに積極的に参加することができる。また、グループワークでは他の学生と協力しながら、課題解決に向けて建設的な提案ができる。
	実行力	課題レポートは期限内に提出することができる。
考え抜く力	課題発見力	課題レポートのテーマを自分なりに考え、選ぶことができる。
	計画力	企業分析やケーススタディに取り組む際に、情報収集から分析、発表までの作業工程を計画的に進め、期限内に質の高い成果物を作成することができる。
	創造力	課題レポートに自分なりの意見を考え、書くことができる。
チームで働く力	発信力	教員からの発問に自分の意見を述べ、伝えることができる。
	傾聴力	教員はどのようなことを言っているのか考えながら聴き、大事なことはメモを取りながら聴くことができる。他の学生の発言に耳を傾け、自分の意見との違いを考えることができる。
	柔軟性	グループディスカッションやケーススタディにおいて、多様な意見や考え方を尊重し、自分の考えを柔軟に修正しながら、より良い解決策を導き出すことができる。
	状況把握力	グループワークや授業内の議論において、全体の進行状況や他のメンバーの理解度を把握し、適切なタイミングで発言や質問をすることができる。
	規律性	遅刻・無断欠席など学習意欲欠如きたす行動をせず、授業が円滑に進むようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	課題提出や発表などのプレッシャーがある状況でも、冷静さを保ち、効果的に対処することができる。また、グループワークでの意見の相違などによるストレスを適切に管理し、建設的な関係を維持することができる。

テキスト及び参考文献

テキスト：授業内配布（NotebookLMの活用をします）本講義では指定の市販テキストは使用せず、毎回の授業で配布する資料（レジュメ、スライド、各種データ等）をテキストとして使用します。その際、配布資料を単に読むだけでなく、生成AIツールである『NotebookLM』に読み込ませて活用します。配布された複数の資料やデータをAIに統合的に分析させることで、難解な用語の理解から、情報に基づくインサイト（洞察）の抽出、根拠（エビデンス）に基づいた論理的な課題解決や企画立案まで、AIと協働しながら実践的な学習を進めます。

参考文献：菊池敏夫・櫻井克彦・田尾雅夫・城田吉孝『現代の経営学』（税務経理協会、2018年）、2,970円（税込）

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：ビジネス・スタディユニットの各科目
 資格との関連：ビジネス実務士、ウェブデザイン実務士

学修上の助言	受講生とのルール
① 講義形式を中心とするが、受講生の参加（授業中の発言、課題への記入）を求め、評価に反映する。 ② 授業で学んだことを基に、自分の周り（テレビ・インターネット・新聞等含む）にある経済の動きを観察し、自分なりに考えてみるようにする。	① 授業を3回以上欠席した場合は、担当教員と連絡を取った上で補習・助言を受ける。 ② 授業の進展具合等によりシラバスを変更する場合があります。 ③ パソコン必携【重要】

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント				
学修成果	学期末試験	0	①	⑥				
			②	⑦				
			③	⑧				
			④	⑨				
			⑤	⑩				
	平常評価	小テスト	0	①		⑥		
				②		⑦		
				③		⑧		
				④		⑨		
				⑤		⑩		
		レポート	90	①		✓	⑥	各授業にて課題レポートを提出する。 尚、AIからの単なる切り貼りで自分の意見が見えてこないものは減点となる。 (実行力、課題発見力、創造力)
				②		✓	⑦	
				③			⑧	
				④			⑨	
				⑤			⑩	
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	0	①		⑥				
		②		⑦				
		③		⑧				
		④		⑨				
		⑤		⑩				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	⑥	(主体性) シラバスを使って、次回の授業内容を確認する。課題は必ず実行し提出する（欠席した場合は欠席課題として後日提出）。 (実行力) 課題は期限内に提出することができる。 (課題発見力) 課題のテーマを自分なりに考え、選ぶことができる。 (創造力) 課題に自分なりの意見を考え、書くことができる。 (発信力) 教員からの発問に自分の意見を述べ、伝えることができる。授業の毎回の課題に自分の学べたことや意見をまとめることができる。 (傾聴力) 教員はどのようなことを言っているのか考えながら聴き、大事なことはメモを取りながら聴くことができる。他の学生の発言に耳を傾け、自分の意見との違いを考えることができる。 (規律性) 遅刻・無断欠席など学習意欲欠如きたす行動をせず、授業が円滑に進むようルールを守ることができる。欠席した場合は欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。		
			②	✓	⑦			
			③		⑧			
			④		⑨			
			⑤		⑩			
総合評価割合		100						

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S (秀) : 自分自身で企業経営の簡単なプランニングを行うことができる。</p> <p>A (優) : 自分自身で企業経営の事例を調査・分析することができる。</p>	<p>B (良) : 授業で紹介した企業経営の事例を説明することができる。</p> <p>C (可) : 毎回の講義のC (可) の達成基準の設問を説明することができる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	企業とは何か？ 現代企業の定義と役割、および企業の分類について学ぶ。スズキ、本田、トヨタ等の事例を通じ、企業が社会に提供する価値について考察する。	講義・演習 課題をGoogle classroom経由で提出 フィードバックは授業内の、復習課題の解説で行う	企業の基本的な定義と、社会における役割(価値創造)について自分の言葉で説明できる。	予習：身の回りの店舗や企業が、誰にどのような価値を提供しているか考えてくる。 復習：授業で扱った企業の事例を振り返り、その成功要因をノートにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	企業の制度化とステークホルダー 企業を取り巻く利害関係者(ステークホルダー)の概念を理解する。PASCO等の事例を用い、各ステークホルダーへの価値提供を分析する。	講義・演習 課題をGoogle classroom経由で提出 フィードバックは授業内の、復習課題の解説で行う	内部・外部ステークホルダーを区別し、企業との関わりや重要性を説明できる	予習：自分の好きな店やアルバイト先のステークホルダーをリストアップしてみる。 復習：特定の企業を選び、その企業がどのステークホルダーを重視しているか分析する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	愛知の会社で学ぶ日本の働き方 日本的経営(終身雇用・年功序列)の特徴と歴史的変遷、成果主義への移行を学ぶ。トヨタやコメダ珈琲など地元企業の事例から現代の働き方を考える。	講義・ディスカッション 課題をGoogle classroom経由で提出 フィードバックは授業内の、復習課題の解説で行う	従来の日本的雇用慣行のメリット・デメリットと、近年の働き方の変化について理解している。	予習：家族や身近な社会人に、会社の制度や働き方についてインタビューしてみる。 復習：自分にとって理想的な働き方とは何か、授業の内容を踏まえて記述する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	会社の統治(コーポレート・ガバナンス) 経営者の暴走を防ぐガバナンスの仕組みと重要性を学ぶ。企業不祥事や架空のコスメブランドの事例を通じ、健全な企業運営について考察する。	講義・ケーススタディ 課題をGoogle classroom経由で提出 フィードバックは授業内の、復習課題の解説で行う	コーポレート・ガバナンスが必要な理由と、それが企業価値や信頼にどう影響するかを説明できる。	予習：ニュース等で企業の不祥事やガバナンスに関する話題を探し、原因を考えてくる。 復習：不祥事を防ぐために、企業はどのような仕組みを持つべきか自分の考えをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	経営戦略 全社戦略と事業戦略の違い、経営資源(ヒト・モノ・カネ・情報)について学ぶ。ドン・キホーテの事例を用い、PPM分析(プロダクト・ポートフォリオ・マネジメント)を演習する。	講義・演習 課題をGoogle classroom経由で提出 フィードバックは授業内の、復習課題の解説で行う	経営戦略の基本概念を理解し、PPMなどのフレームワークを用いて事業分析ができる。	予習：興味のある企業がどのような戦略(安さ、品質、独自性など)をとっているか調べてくる。 復習：PPM分析の図表を見直し、各事業の位置づけと推奨される戦略を再確認する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	競争戦略 SWOT分析(強み・弱み・機会・脅威)の手法と競争優位の源泉を学ぶ。オンワード樫山の事例を通じ、差別化戦略や他社とのコラボレーションの有効性を理解する。	講義・演習 課題をGoogle classroom経由で提出 フィードバックは授業内の、復習課題の解説で行う	SWOT分析を用いて企業の環境分析を行い、基本的な競争戦略(差別化など)を説明できる。	予習：特定の商品やブランドを選び、その「強み」と「弱み」を書き出してみる。 復習：SWOT分析の結果に基づき、その企業が今後とるべき戦略を一つ提案する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	科学的管理法 テイラーの科学的管理法(課業管理、標準化)の原理と、現代(マクドナルド、Amazon等)への応用を学ぶ。フォードとトヨタの生産方式の違いを比較する。	講義・比較分析 課題をGoogle classroom経由で提出 フィードバックは授業内の、復習課題の解説で行う	業務の効率化・標準化の意義を理解し、現代企業における科学的管理法の活用例を説明できる。	予習：アルバイト先や日常生活の中で「マニュアル化」や「効率化」されている作業を探してみる。 復習：効率化を追求することのメリットとデメリットについて考察し、レポートする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	動機づけ理論(モチベーション) マズローの欲求階層説やハーズバーグの二要因理論などの動機づけ理論を学ぶ。スーパーマーケットの事例から、従業員のやる気を引き出す実践的手法を考察する。	講義・演習 課題をGoogle classroom経由で提出 フィードバックは授業内の、復習課題の解説で行う	業務の効率化・標準化の意義を理解し、現代企業における科学的管理法の活用例を説明できる。	予習：自分が「やる気が出る時」と「出ない時」の違いを振り返り、その要因を考えてくる。 復習：授業で学んだ理論を用いて、アルバイト先等のモチベーション改善策を考える。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	組織と意思決定 バーナードの組織成立の3要素(共通目的・協働意欲・コミュニケーション)と意思決定の種類を学ぶ。トヨタ自動車の組織改革(2024年)の事例を分析する。	講義・ケーススタディ課題をGoogle classroom経由で提出 フィードバックは授業内の、復習課題の解説で行う	組織が成立するための要件を定義し、企業活動における意思決定の重要性を説明できる。	予習:自分の所属する組織(クラス、サークル等)を3要素の視点で分析してみる。 復習:組織の課題解決において、トップダウンとボトムアップのどちらが有効か考察する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	リーダーシップ マネジメントとリーダーシップの違い、およびSL理論などの主要理論を学ぶ。マクドナルドのアルバイトリーダーの実例から、身近なリーダーシップを考える。	講義・ケーススタディ課題をGoogle classroom経由で提出 フィードバックは授業内の、復習課題の解説で行う	リーダーシップとマネジメントの機能的な違いを説明でき、状況に応じたリーダー行動の重要性を理解する。	予習:自分の身の回りにおける「リーダー」だと思ふ人を挙げ、その理由を考えてくる。 復習:自分がリーダーになった場面を想定し、どのような行動をとるべきかシミュレーションする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	企業の社会的責任(CSR) CSR、ESG、SDGsの概念と相互関係を学ぶ。トヨタ自動車の事例を通じ、本業を通じた社会課題解決(CSV)の重要性を理解する。	講義・ケーススタディ課題をGoogle classroom経由で提出 フィードバックは授業内の、復習課題の解説で行う	企業の社会的責任(法令順守、環境配慮など)の意義を理解し、ESG経営について説明できる。	興予習:興味のある企業の「サステナビリティ」や「SDGs」のページを見ておく。 復習:CSR活動が企業の利益にどうつながるのか、そのメカニズムを整理する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	決算書を読んでみよう ビジネスにおける「利益」の仕組みと、財務諸表(P/L、B/S)の基本構造を学ぶ。売上、費用、利益の関係式を理解する。	講義・演習課題をGoogle classroom経由で提出 フィードバックは授業内の、復習課題の解説で行う	貸借対照表(B/S)と損益計算書(P/L)の基本的な役割を理解し、売上から利益が算出される流れを説明できる。	予習:身近な商品の「原価」と「売値」について想像し、利益がどれくらいか考えてみる。 復習:モデル企業の数値を用いて、売上総利益や営業利益を計算する練習を行う。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	会社経営疑似体験ゲーム(実践編) ネットショップ経営シミュレーションを行う。元手資金で商品を仕入れ、市場(オークション)で販売するプロセスを通じ、商売の基本サイクルを体験する。	講義・グループワーク課題をGoogle classroom経由で提出 フィードバックは授業内の、復習課題の解説で行う	自社の活動結果を数値(決算書)にまとめ、なぜ利益が出たのか(出なかったのか)を論理的に分析できる。	予習:配布されたゲームのルールブックを読み、基本ルールと勝利条件を理解しておく。 復習:ゲーム内での自分の意思決定(仕入れ数や価格設定)の理由を記録しておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	会社経営疑似体験ゲーム(決算・分析編) ゲーム結果を基に決算書を作成し、自社の経営成績(黒字・赤字)を確定させる。ROEやROAの指標を用いて経営効率を分析・振り返る。	講義・グループワーク課題をGoogle classroom経由で提出 フィードバックは授業内の、復習課題の解説で行う	自社の活動結果を数値(決算書)にまとめ、なぜ利益が出たのか(出なかったのか)を論理的に分析できる。	予習:ゲームの結果(売上、在庫、資金残高)を整理し、計算の準備をしておく。 復習:もしもう一度ゲームを行うならどうするか、改善策を具体的にまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	企業ケーススタディ(ダイエーの栄光と挫折) 戦後最大の小売業ダイエーの歴史を紐解き、急成長の要因とバブル崩壊後の失敗要因(過剰投資、環境変化への遅れ)を分析する。	講義・ケーススタディ課題をGoogle classroom経由で提出 フィードバックは授業内の、復習課題の解説で行う	企業の持続的成長における「環境適応」と「財務規律」の重要性を、ダイエーの事例を通じて説明できる。	予習:これまでの講義内容(戦略、組織、財務)を総復習し、分析の視点を持つておく。 復習:半期の学びを総括し、企業が長く存続するために最も重要なことは何か、自分の考えを述べる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力